

【住宅性能表示】接合部

建物名 sample

柱頭柱脚金物算定表 (1階柱)

柱頭柱脚金物算定表 (2階柱)

使用金物一覧

柱頭柱脚金物算定平面図

柱頭柱脚金物算定立面図

接合部チェック(胴差と通し柱、外周横架材)

接合部チェック平面図(胴差と通し柱、外周横架材)

注意事項

- 平成12年建設省告示第1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」第二号のただし書きにより接合金物を求める方法に準拠した計算を行います。
- N値計算において、1階の柱のN値について、その真上の2階柱の金物のN値が大きい場合、1階柱の金物は2階の柱の金物同等以上としています。
- 倍率の異なる耐力壁が直交して取り付く場合は、平面におけるX方向とY方向を区分してそれぞれ必要となる金物を選択し、耐力の大きい方の金物を採用します。
- 2階柱の下に柱が無い場合については、以下のいずれかの方法を選択して計算を行うことができます。
 - 1m以内の範囲にある1階柱が下にあるものとして計算する。
 - 1階の両側の柱が2階柱の引抜力を負担するものとして計算する。
- 同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物(金物が(に)以上の場合)について、以下のいずれかの方法を選択して計算することができます。
 - 同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえる
 - 同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえない
- 接合部金物は設計者が任意に登録することが可能です。
- 利用者におかれましては、公的な認定や性能試験を受けているものであること、また性能試験時の構造体の条件等が合致する場合においてのみお使い下さい。

株式会社KJ GLOBAL一級建築士事務所
(神奈川県知事事務所登録 第16026号)
〒225-0001
神奈川県横浜市青葉区美しが丘西2-38-3 C-1
TEL. 045-507-7871 FAX. 045-507-7872
<http://www.kj-global.com/>

注意事項



P04-02

ホームズ君「構造EX」(以下、本ソフトウェア)は、財団法人日本住宅・木材技術センターが実施している「木造建築物電算プログラム認定」において、関係法令や評価方法基準に準拠しているとして、認定書(認定番号:P04-02)の交付を受けております。

認定対象の計算書・図面には用紙右上に「木造建築物電算プログラム認定」の認定番号が印字されます。

【認定の範囲】

本ソフトウェアの認定の範囲を下表にて示します。本ソフトウェアの全機能が認定対象ではありませんのでご注意ください。本ソフトウェアの利用者、並びに本ソフトウェアの計算結果を確認する立場の方は、認定の範囲を十分理解の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

本ソフトウェアの全機能における認定の範囲

○:認定対象 - :認定対象外

分類	認定範囲	機能	関係法令等
建築基準法		壁量計算	建築基準法施行令第46条「構造耐力上必要な軸組等」第4項
		壁の配置(偏心率)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
		壁の配置(四分割法)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
		接合部(筋かい、柱頭柱脚)	平12建告1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を求める件」
	-	シックハウス	
住宅性能表示 構造の安定		性能表示壁量計算	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ
		床倍率	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ
		壁の配置(偏心率)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
		壁の配置(四分割法)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
		接合部(筋かい、柱頭柱脚)	平12建告1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を求める件」
		接合部(通し柱、外周横架材)	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ
		横架材のチェック	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ、1-2(3)ホ、1-4(3)ホ
		基礎のチェック	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ、1-2(3)ホ、1-4(3)ホ
住宅性能表示 その他	-	火災時の安全	
	-	劣化の軽減	
	-	維持管理	
	-	温熱環境	
	-	空気環境	
	-	光・視環境	
	-	音環境	
	-	高齢者	
その他機能	-	防犯	
	-	伏図作成機能	
		梁せい算定機能	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ、1-2(3)ホ、1-4(3)ホ
	-	等級ナビ	
	-	3D地震被害想定	
	構造安全性チェック		

【木造建築物電算プログラム認定とは】

財団法人日本住宅・木材技術センターが実施しているプログラム認定制度です。

目的は、木造建築物電算プログラムに係る認定を行うことを通じて、木造建築物の品質性能および生産性の向上に寄与し、もって木造建築物の関連産業の発展と国民生活の向上に貢献することとなっています。

認定にあたっては、学識経験者で構成する「木造建築物電算プログラム認定委員会」が設置され電算プログラムの適切さ(法令との整合性、プログラム処理の妥当性、誤用防止策等)や運用の適切さ(メンテナンスや苦情処理体制等)について審査が行われます。

注意事項



P04-02

【住宅性能表示の計算上の注意点】

- ・住宅性能表示の各判定（住宅性能表示壁量計算、偏心率、四分割法、床倍率、柱頭柱脚接合部、筋かい接合部、胴差と通し柱の接合部、外周横架材の接合部、横架材、基礎）を行う際の条件や注意点については、各帳票の表紙に注意事項として明記しています。
- ・住宅性能表示の各判定を行う際の耐力壁の壁倍率の扱いは以下の通りです。

住宅性能表示壁量計算	：上限5.0倍（合計値）	偏心率	：上限7.0倍（合計値）
四分割法	：上限5.0倍（合計値）	柱頭柱脚接合部	：上限7.0倍（合計値）
床倍率	：上限5.0倍（合計値）		
- ・住宅性能表示壁量計算においては設計者が任意に耐力壁および準耐力壁を追加することができます。追加した耐力壁、準耐力壁は帳票『存在壁量明細表』において国土交通大臣の認定番号が明記されるので確認ください。
- ・柱頭柱脚接合部、筋かい接合部、胴差と通し柱の接合部および外周横架材の接合部の各判定においては、設計者が任意に接合金物を追加することができます。追加した接合金物は『使用金物一覧』および『接合部チェック』において、木造建築物用接合金物認定などの認定番号が明記されるので確認ください。

SAMPLE

柱頭柱脚金物算定表 (1階柱)

日付:2014年09月25日 15:22:03

建物コード:140100

建物名:sample

柱	方向	1階					2階					L	N	接合金物				
		柱状況	パターン	補正値	A1	B1	柱	柱状況	パターン	補正値	A2			B2	スパン逆比	AB2'	柱頭	柱脚
1	X	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8	1	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8	-	-	1.0	3.00	(ち)	(ち)
	Y	出隅	0.0 0.0	0.0	0.0	0.8	1	出隅	2.5 0.0	0.0	2.5	0.8	-	-	2.22			
							24	他柱(下)	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	0.73	0.91				
						35	他柱(下)	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	0.24	0.30					
2	X	他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5	2	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)
3	X	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5								1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)	
4	Y	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5								1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)	
5	Y	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	5	他柱	4.0 x 0.0	0.0	4.0	0.5	-	-	1.6	0.40	#(に)	#(に)
6	X	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	6	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)
7	X	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	7	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)
10	X	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	10	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)
11	X	他柱	0.0 / 4.5	-0.5	4.0	0.5	11	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	1.65	無(通し柱)	(へ)
12	X	他柱	4.5 / 2.5	0.5	2.5	0.5								1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)	
13	X	他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5	13	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)
14	X	他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5	14	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)
15	X	他柱	2.5 \ 4.5	0.5	2.5	0.5	15	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	0.90	(は)	(は)
16	X	出隅	4.5 \ 0.0	-0.5	4.0	0.8	16	出隅	2.5 0.0	0.0	2.5	0.8	-	-	1.0	4.20	無(通し柱)	(り)
	Y	出隅	2.5 0.0	0.0	2.5	0.8	16	出隅	2.5 0.0	0.0	2.5	0.8	-	-	3.00			
18	Y	他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5								1.6	-1.60	(ろ)	(ろ)	
19	Y	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	17	他柱	4.0 x x 4.0	0.0	0.0	0.5	-	-	1.6	-1.60	(ろ)	(ろ)
21	Y	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	23	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	0.90	(は)	(は)
22	Y	他柱	4.0 x 0.0	0.0	4.0	0.5								1.6	0.40	(ろ)	(ろ)	
23	Y	他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5								1.6	-1.60	(ろ)	(ろ)	
24	Y	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	29	他柱	2.0 / x 4.0	0.5	2.5	0.5	-	-	1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)
25	Y	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	33	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	0.90	(は)	(は)
26	Y	他柱	0.0 x 4.0	0.0	4.0	0.5								1.6	0.40	(ろ)	(ろ)	
28	Y	他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5	34	他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5	-	-	1.6	-1.60	(ろ)	(ろ)
29	Y	他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5								1.6	-1.60	(ろ)	(ろ)	
30	Y	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	37	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	-	-	1.6	-0.85	(ろ)	(ろ)
32	Y	他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5	43	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)
33	X	出隅	0.0 \ 4.5	0.5	5.0	0.8	44	出隅	0.0 x 4.5	0.0	4.5	0.8	-	-	1.0	6.60	(る)	(る)
	Y	出隅	0.0 0.0	0.0	0.0	0.8	44	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8	-	-	2.28			
							24	他柱(上)	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	0.27	0.34				
						35	他柱(上)	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	0.76	0.95					
34	X	他柱	4.5 \ / 4.5	0.0	0.0	0.5	45	他柱	4.5 x 0.0	0.0	4.5	0.5	-	-	1.6	0.65	#(へ)	#(へ)
35	X	他柱	4.5 / 0.0	0.5	5.0	0.5								1.6	0.90	(は)	(は)	
36	X	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5								1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)	
	Y	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5								1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)	
37	X	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5								1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)	
	Y	他柱	4.5 \ 0.0	-0.5	4.0	0.5								1.6	0.40	(ろ)	(ろ)	
38	X	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	48	他柱	0.0 5.0	0.0	5.0	0.5	-	-	1.6	0.90	#(と)	#(と)
39	X	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	49	他柱	5.0 0.0	0.0	5.0	0.5	-	-	1.6	0.90	#(と)	#(と)
	Y	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5								1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)	
42	Y	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5								1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)	
43	Y	下屋 / 他柱	4.5 / \ 4.5	1.0	1.0	0.5								0.6	-0.10	(ろ)	(ろ)	
44	Y	下屋 / 他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5								0.6	-0.60	(ろ)	(ろ)	
47	Y	下屋 / 他柱	2.5 / 4.5	-0.5	1.5	0.5								0.6	0.15	(ろ)	(ろ)	

記号の説明

- ・「方向」... 柱に斜め方向の耐力壁が取り付けの場合は方向が「Z1方向」「Z2方向」となります。(最大斜め2方向まで)
- ・「パターン」... 柱両側の耐力壁の取り付けを表しています。 X:筋かいダブル /:筋かいシングル :面材耐力壁
- ・「パターン」... #は、同位置の耐力壁の合計壁倍率を上限値の7.0に低減して計算していることを表しています。
- ・「2階 柱状況」... () 表記は、1階の柱から見た2階の柱の平面位置を表しています。
- ・「接合金物(柱頭・柱脚)」... #は1階柱の金物をよりN値の大きい2階柱の金物に合わせたことを表しています。
(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)
は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭の金物に挿れたことを表しています。
(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
*は設計者により編集された金物を表しています。(自動設定された金物以上の金物を選択)

計算条件

- ・2階柱の下に柱がない場合の計算方法 1階の両側の柱が2階柱の引抜力を負担するものとして計算する。
- ・同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえる。 ただし、金物が(に) 以上の場合

住宅性能表示

柱頭柱脚金物算定表
(1階柱)

日付:2014年09月25日 15:22:03

建物コード:140100

建物名:sample

柱	方向	1階					2階							L	N	接合金物		
		柱状況	パターン	補正値	A1	B1	柱	柱状況	パターン	補正値	A2	B2	スパン逆比			AB2'	柱頭	柱脚
48	Y	下屋/他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5								0.6	-0.60	(ろ)	(ろ)	
49	Y	他柱	6.5 x 0.0	0.0	6.5	0.5	61	他柱	6.5 x 0.0	0.0	6.5	0.5	-	-	1.6	4.90	(ぬ)	(ぬ)
50	Y	他柱	6.5 x 0.0	0.0	6.5	0.5	62	他柱	6.5 x 0.0	0.0	6.5	0.5	-	-	1.6	4.90	(ぬ)	(ぬ)
51	Y	下屋/他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5								0.6	-0.60	(ろ)	(ろ)	
53	Y	下屋/他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5								0.6	-0.60	(ろ)	(ろ)	
54	Y	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8								1.0	1.00	(は)	(は)	
55	Y	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8								1.0	1.00	(は)	(は)	
56	Y	他柱	2.5 x 6.5	0.0	4.0	0.5	66	他柱	2.5 x 6.5	0.0	4.0	0.5	-	-	1.6	2.40	(と)	(と)
57	Y	他柱	2.5 x 6.5	0.0	4.0	0.5	67	他柱	2.5 x 6.5	0.0	4.0	0.5	-	-	1.6	2.40	(と)	(と)
58	X	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8	68	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8	-	-	1.0	3.00	無(通し柱)	(ち)
	Y	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8	68	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8	-	-		3.00		
59	X	他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5	69	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)
60	X	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5								1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)	
61	X	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5								1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)	
62	X	他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5	72	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	-	-	1.6	-0.35	(ろ)	(ろ)
63	X	出隅	2.5 0.0	0.0	2.5	0.8	73	出隅	2.5 0.0	0.0	2.5	0.8	-	-	1.0	3.00	無(通し柱)	(ち)
	Y	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8	73	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8	-	-		3.00		

記号の説明

- ・「方向」... 柱に斜め方向の耐力壁が取り付けられる場合は方向が「Z1方向」「Z2方向」となります。(最大斜め2方向まで)
- ・「パターン」... 柱両側の耐力壁の取り付けを表しています。 X:筋かいダブル /:筋かいシングル :面材耐力壁
- ・「パターン」... #は、同位置の耐力壁の合計壁倍率を上限值の7.0に低減して計算していることを表しています。
- ・「2階 柱状況」... ()表記は、1階の柱から見た2階の柱の平面位置を表しています。
- ・「接合金物(柱頭・柱脚)」... #は1階柱の金物をよりN値の大きい2階柱の金物に合わせたことを表しています。
(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)
は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭の金物に挿入したことを表しています。
(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
*は設計者により編集された金物を表しています。(自動設定された金物以上の金物を選択)

計算条件

- ・2階柱の下に柱がない場合の計算方法 1階の両側の柱が2階柱の引抜力を負担するものとして計算する。
- ・同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえる。 ただし、金物が(に)以上の場合

柱頭柱脚金物算定表
(2階柱)

日付:2014年09月25日 15:22:03

建物コード:140100

建物名:sample

柱	方向	柱状況	パターン	補正値	A1	B1	L	N	接合金物	
									柱頭	柱脚
1	X	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8	0.4	1.60	(ほ)	(ち)
	Y		2.5 0.0	0.0	2.5			1.60		
2	X	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
5	Y	他柱	4.0 × 0.0	0.0	4.0	0.5	0.6	1.40	(に)	(に)
6	X	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
7	X	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
10	X	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
11	X	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	無(通し柱)
13	X	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
14	X	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
15	X	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
16	X	出隅	2.5 0.0	0.0	2.5	0.8	0.4	1.60	(ほ)	無(通し柱)
	Y		2.5 0.0	0.0	2.5			1.60		
17	Y	他柱	4.0 × × 4.0	0.0	0.0	0.5	0.6	-0.60	(ろ)	(ろ)
23	Y	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
24	Y	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
29	Y	他柱	2.0 / × 4.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
33	Y	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
34	Y	他柱	2.5 2.5	0.0	0.0	0.5	0.6	-0.60	(ろ)	(ろ)
35	Y	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
37	Y	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
43	Y	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
44	X	出隅	0.0 × 4.5	0.0	4.5	0.8	0.4	3.20	(ち)	(る)
	Y		0.0 2.5	0.0	2.5			1.60		
45	X	他柱	4.5 × 0.0	0.0	4.5	0.5	0.6	1.65	(へ)	(へ)
48	X	他柱	0.0 5.0	0.0	5.0	0.5	0.6	1.90	(と)	(と)
49	X	他柱	5.0 0.0	0.0	5.0	0.5	0.6	1.90	(と)	(と)
61	Y	他柱	6.5 × 0.0	0.0	6.5	0.5	0.6	2.65	(と)	(ぬ)
62	Y	他柱	6.5 × 0.0	0.0	6.5	0.5	0.6	2.65	(と)	(ぬ)
66	Y	他柱	2.5 × 6.5	0.0	4.0	0.5	0.6	1.40	(に)	(と)
67	Y	他柱	2.5 × 6.5	0.0	4.0	0.5	0.6	1.40	(に)	(と)
68	X	出隅	0.0 2.5	0.0	2.5	0.8	0.4	1.60	(ほ)	無(通し柱)
	Y		0.0 2.5	0.0	2.5			1.60		
69	X	他柱	2.5 0.0	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
72	X	他柱	0.0 2.5	0.0	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
73	X	出隅	2.5 0.0	0.0	2.5	0.8	0.4	1.60	(ほ)	無(通し柱)
	Y		0.0 2.5	0.0	2.5			1.60		


記号の説明

- ・「方向」... 柱に斜め方向の耐力壁が取り付けられる場合は方向が「Z1方向」「Z2方向」となります。(最大斜め2方向まで)
は、その方向の引抜力を負担する1階柱が存在しないことを表しています。
- ・「パターン」... 柱両側の耐力壁の取り付けを表しています。 X:筋かいダブル / :筋かいシングル :耐力壁
- ・「パターン」... #は、同位置の耐力壁の合計壁倍率を上限値の7.0に低減して計算していることを表しています。
- ・「2階柱状況」... () 表記は、1階の柱から見た2階の柱の平面位置を表しています。
- ・「接合金物(柱頭・柱脚)」... #は1階柱の金物をよりN値の大きい2階柱の金物に合わせたことを表しています。
(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)
は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭の金物に揃えたことを表しています。
(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
*は設計者により編集された金物を表しています。(自動設定された金物以上の金物を選択)

計算条件

- ・2階柱の下に柱がない場合の計算方法 1階の両側の柱が2階柱の引抜力を負担するものとして計算する。
- ・同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえる。 ただし、金物が(に)以上の場合

柱頭柱脚接合部金物

N値	告示 表三	金物名	略称	注意事項(認定番号)	金物数量(箇所)		
					1階	2階	合計
0							
~ 0.65	(ろ)	長ほぞ差し込み栓又はかど金物CP-L、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	CP-L		86	119	205
~ 1.0	(は)	山形プレートVP又はかど金物CP-T、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	VP		12	0	12
~ 1.4	(に)	羽子板ボルト又は短冊金物(スクリュー釘なし)、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	SB-F2		2	4	6
~ 1.6	(ほ)	羽子板ボルト又は短冊金物(スクリュー釘あり)、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	SB-F		0	4	4
~ 1.8	(へ)	10kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B10		3	2	5
~ 2.8	(と)	15kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B15		8	8	16
~ 3.7	(ち)	20kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B20		4	2	6
~ 4.7	(り)	25kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B25		1	0	1
~ 5.6	(ぬ)	15kN引き寄せ金物×2	HD-B15X2		4	2	6
~ 6.6	(る)	35kN引き寄せ金物	HD-B35		2	1	3
~ 9.0	(を)	35kN引き寄せ金物×2	HD-B35X2		0	0	0
9.0超	()		N>9		0	0	0

・設計者が任意に追加、編集した金物の行は網掛け(□)で表示されます。

筋かい接合部金物

筋かい種類	接合部 記号	金物名	金物数量 (個)
筋かい(鉄筋9)	SS3	鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にCN90 8本平打ち	4
筋かい(45×90)	SS6	筋かいプレート(BP-2) 同等認定金物等	42

・筋かいがシングルの場合は金物数量は「2」、ダブルの場合は金物数量は「4」とカウントされます。

・設計者が任意に追加、編集した金物の行は網掛け(□)で表示されます。

住宅性能表示

接合部チェック

日付:2014年09月25日 15:22:03

(胴差と通し柱、外周横架材)

建物コード:140100

建物名:sample

胴差と通し柱の接合部チェック

1階 柱番号	2階 柱番号	胴差方向	接合部 記号	接合部仕様
11	11	左-右	T2	かたぎ大入れ短ほぞ差し+(羽子板ボルト又は短冊金物)
16	16	左-下	T1	かたぎ大入れ短ほぞ差し+(羽子板ボルト又はかね折り金物)
58	68	上-右	T1	かたぎ大入れ短ほぞ差し+(羽子板ボルト又はかね折り金物)
63	73	左-上	T1	かたぎ大入れ短ほぞ差し+(羽子板ボルト又はかね折り金物)

・設計者が任意に編集した金物の行は網掛け(□)で表示されます。

外周横架材接合部チェック (耐力壁のみ考慮)

階	種別	番号	接合 方向	部位 パターン	区画 番号	平均 存在 床倍率	耐力壁 線間 距離	必要 接合部 倍率	接合部 記号	接合部仕様	接合部 倍率
1	継手	1	上下		X-2	3.00	2.28	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	継手	2	左右		Y-4	3.00	3.64	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	1	上下		X-2	3.00	2.28	1.27	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	2	上下		X-3	1.20	3.06	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	3	上下		X-1	2.80	3.74	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	4	上下		X-3	1.20	3.06	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	5	左右		Y-1	3.00	2.73	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	6	左右		Y-1	3.00	2.73	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	7	左右		Y-1	3.00	2.73	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	8	左右		Y-3	1.58	1.82	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	9	左右		Y-4	3.00	3.64	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	10	左右		Y-1	3.00	2.73	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	11	左右		Y-1	3.00	2.73	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	12	左右		Y-1	3.00	2.73	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	13	左右		Y-1	3.00	2.73	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	14	左右		Y-2	3.00	0.91	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	15	左右		Y-4	3.00	3.64	2.03	J2	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト×2又は短冊金物×2)	3.00
1	仕口	16	左右		Y-3	1.58	1.82	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
1	仕口	17	左右		Y-3	1.58	1.82	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
2	継手	1	上下		X-1	1.15	3.74	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
2	継手	2	左右		Y-2	1.10	5.46	1.12	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
2	継手	3	左右		Y-3	1.10	4.55	0.93	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
2	継手	4	左右		Y-2	1.10	5.46	1.12	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
2	仕口	1	上下		X-1	1.15	3.74	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
2	仕口	2	上下		X-1	1.15	3.74	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
2	仕口	3	上下		X-1	1.15	3.74	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
2	仕口	4	上下		X-2	1.10	3.06	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
2	仕口	5	上下		X-2	1.10	3.06	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90
2	仕口	6	上下		X-2	1.10	3.06	0.70	J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)	1.90

住宅性能表示

接合部チェック

日付:2014年09月25日 15:22:03

(胴差と通し柱、外周横架材)

建物コード:140100

建物名:sample

・設計者が任意に編集した金物の行は網掛け(□)で表示されます。

部位パターンの説明

部位パターンの記号が表している部位および必要接合部倍率の計算方法は以下の表の通りです。

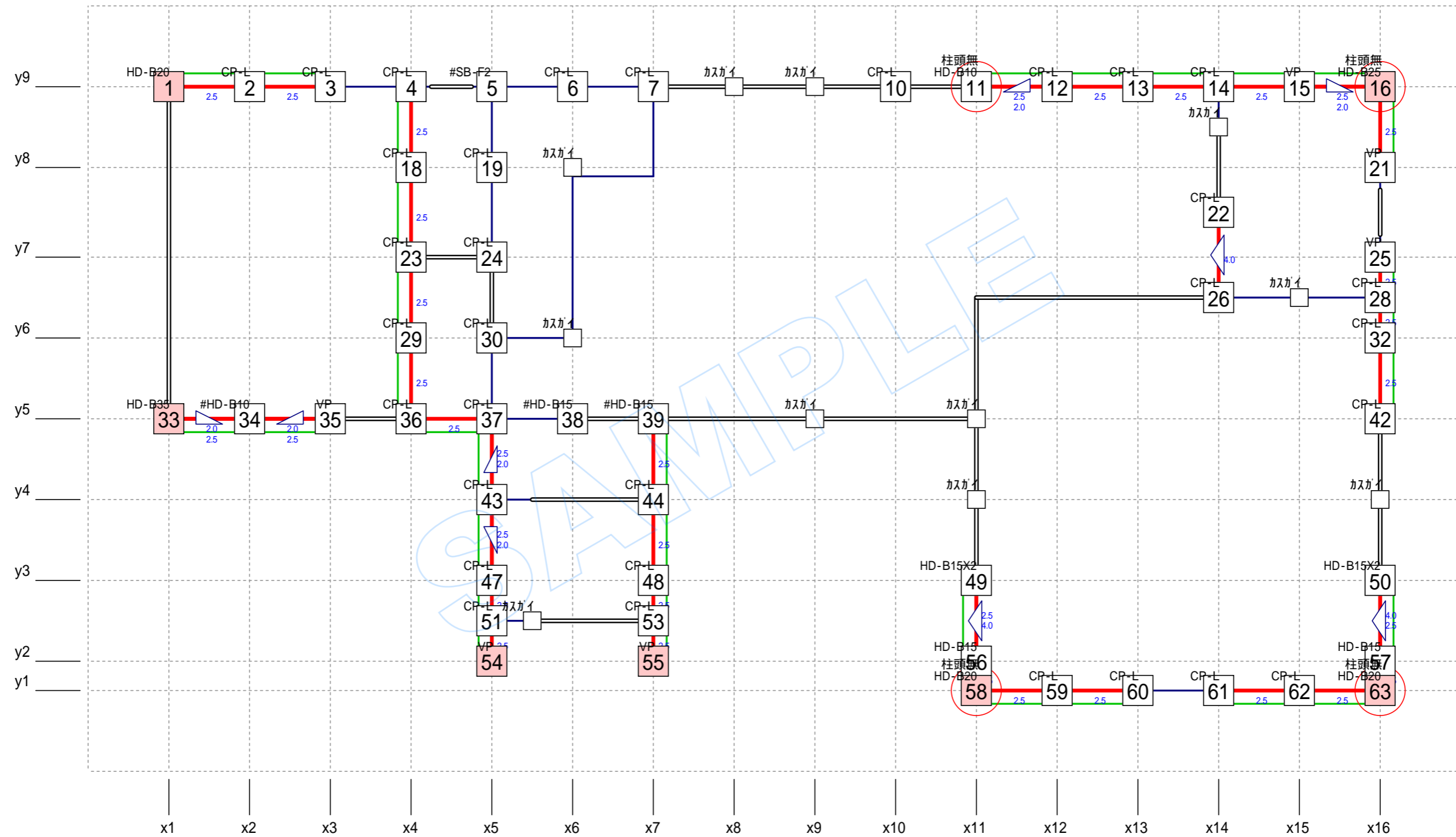
記号	部位	必要接合部倍率
	下屋の付け根の接合部	
	建物の最外周の耐力壁線から1.5mを超える位置にある入り隅部の接合部	必要接合部倍率 = 耐力壁線間距離 × $\frac{\text{平均存在床倍率}}{\text{床倍率}}$ × 0.185 (0.7以下の時は0.7とする)
	耐力壁線間距離が4mを超える床・屋根面の中間の接合部	
	その他の接合部	0.7

SAMPLE

柱頭柱脚金物算定平面図

住宅性能表示

1階



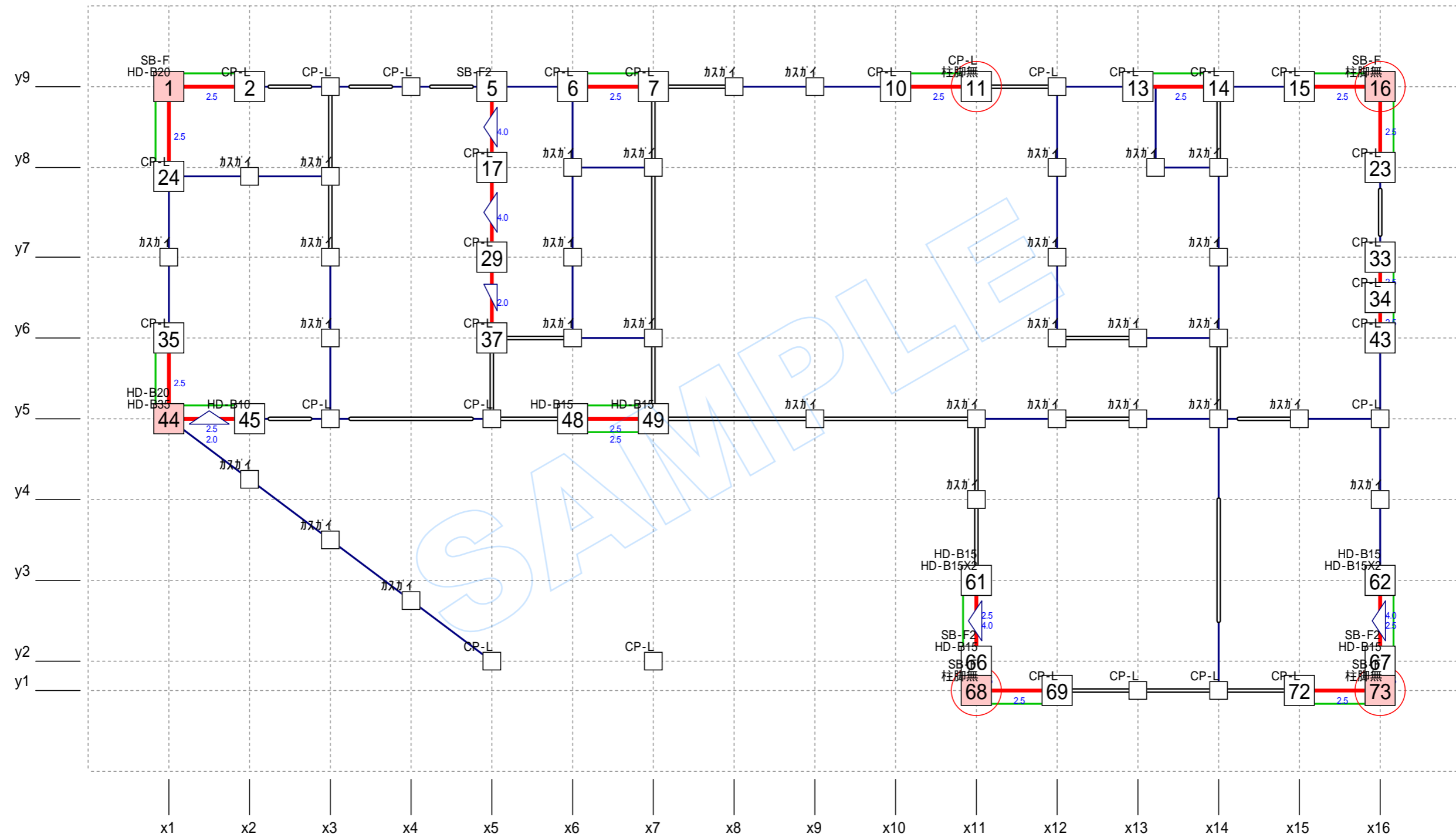
縮尺 1/50

凡例 一般壁 開口部 耐力壁 面材耐力壁 大臣認定耐力壁 筋かいダブル 柱頭 柱脚 筋かいシングル 検討柱 検討外柱 出隅柱 通し柱
 (ろ) CP-L (は) VP (に) SB-F2 (ほ) SB-F (へ) HD-B10 (と) HD-B15 (ち) HD-B20 (り) HD-B25 (ぬ) HD-B15X2 (る) HD-B35
 (を) HD-B35X2 () N>9
 検討外柱は(い)の金物を使用する。
 印の金物は2階柱脚を1階柱頭に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
 #印の金物は1階柱を2階柱に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)

柱頭柱脚金物算定平面図

住宅性能表示

2階



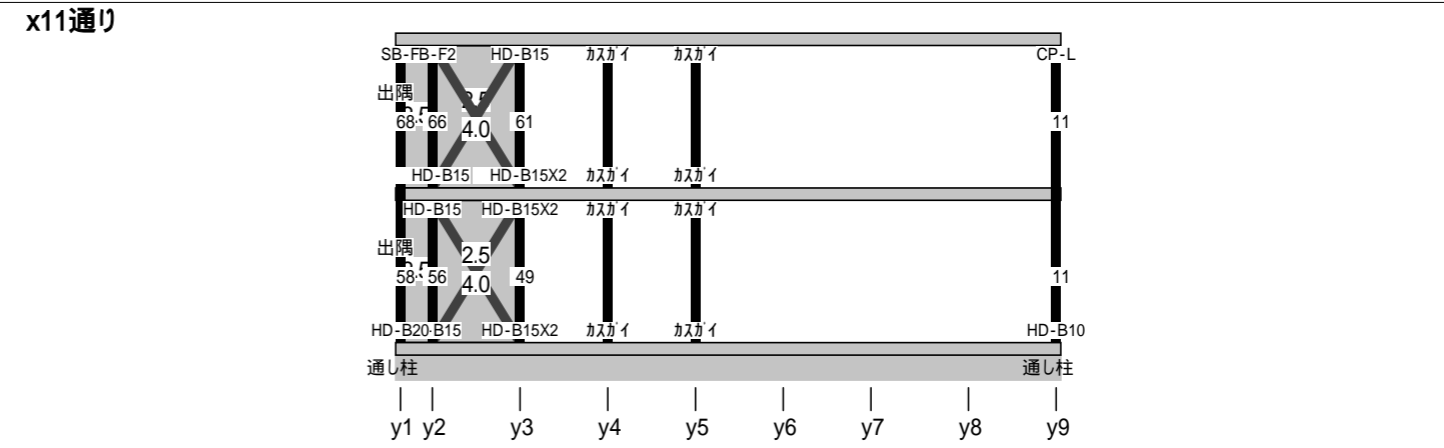
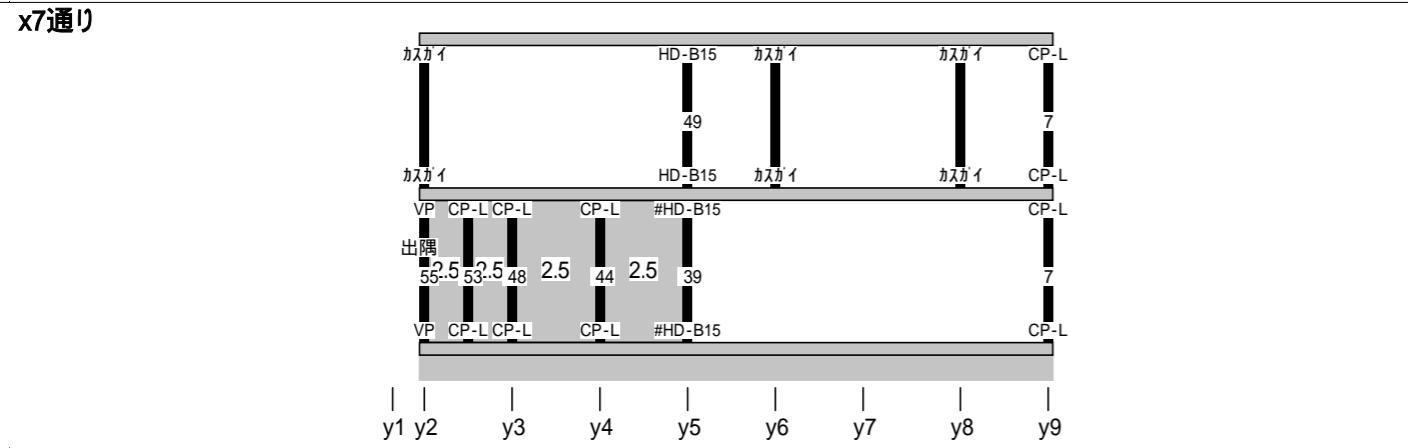
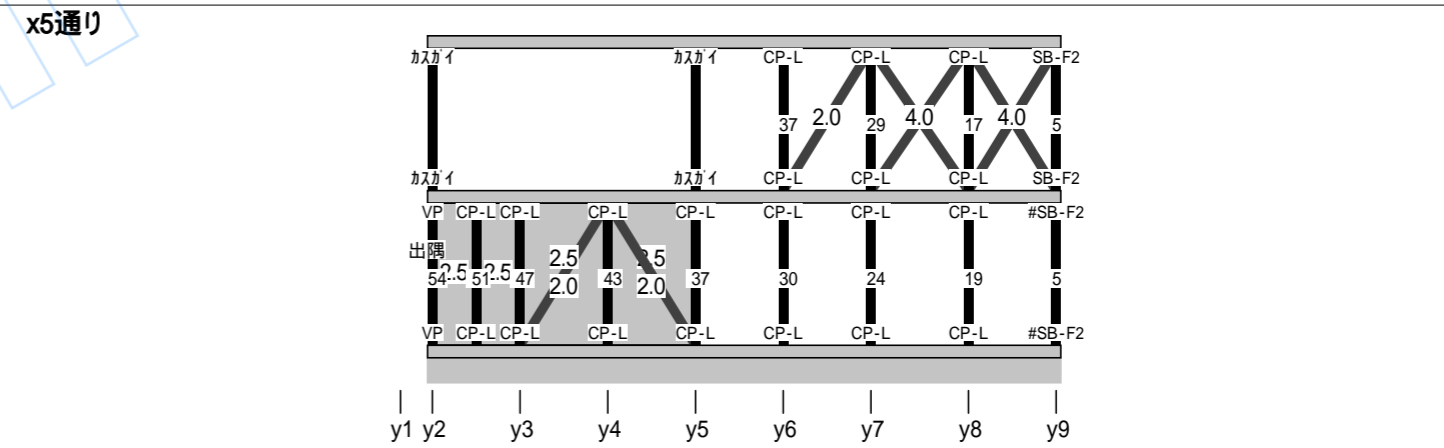
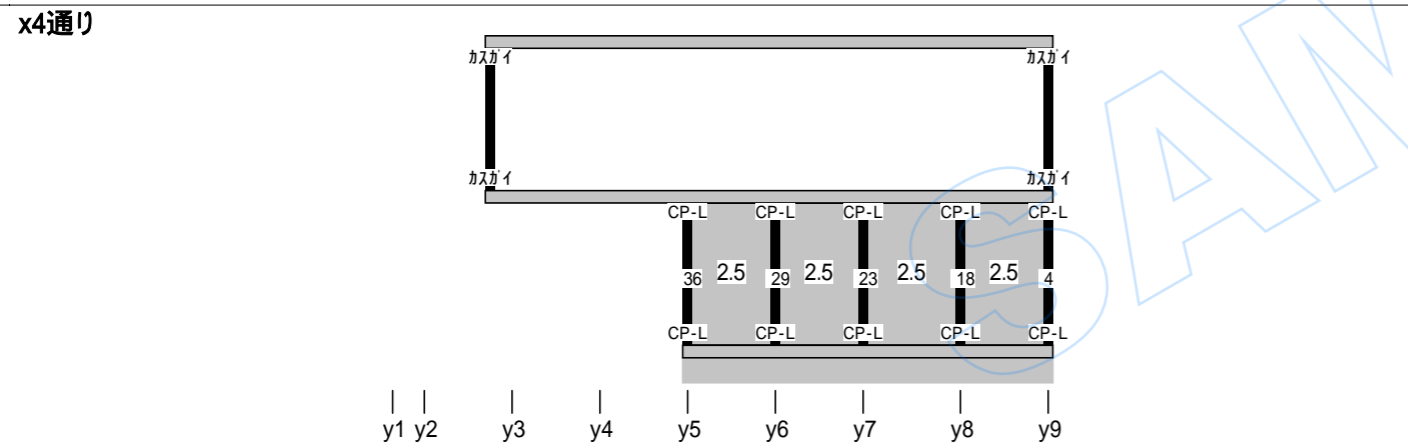
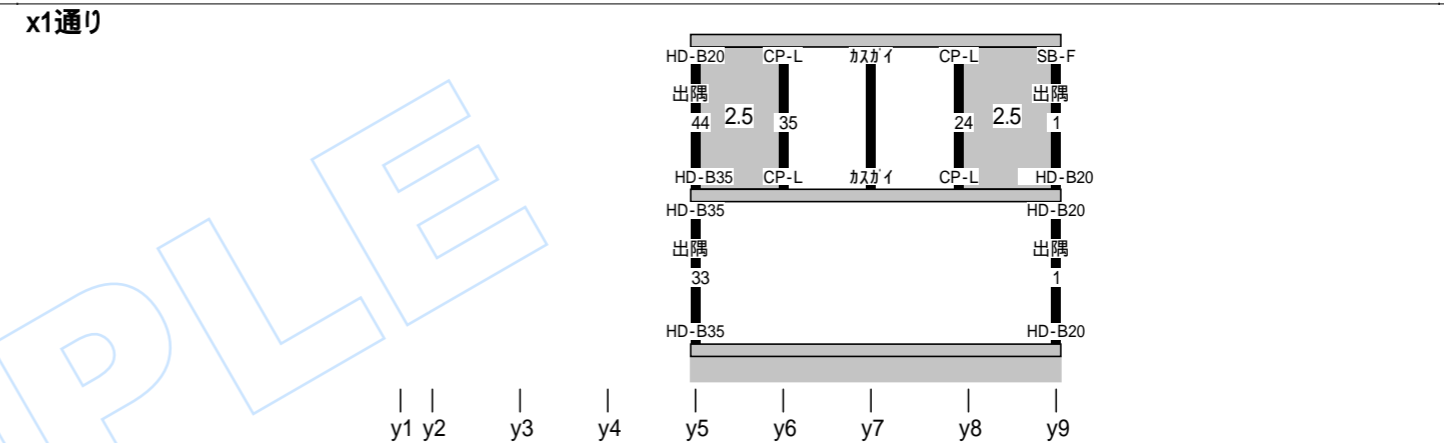
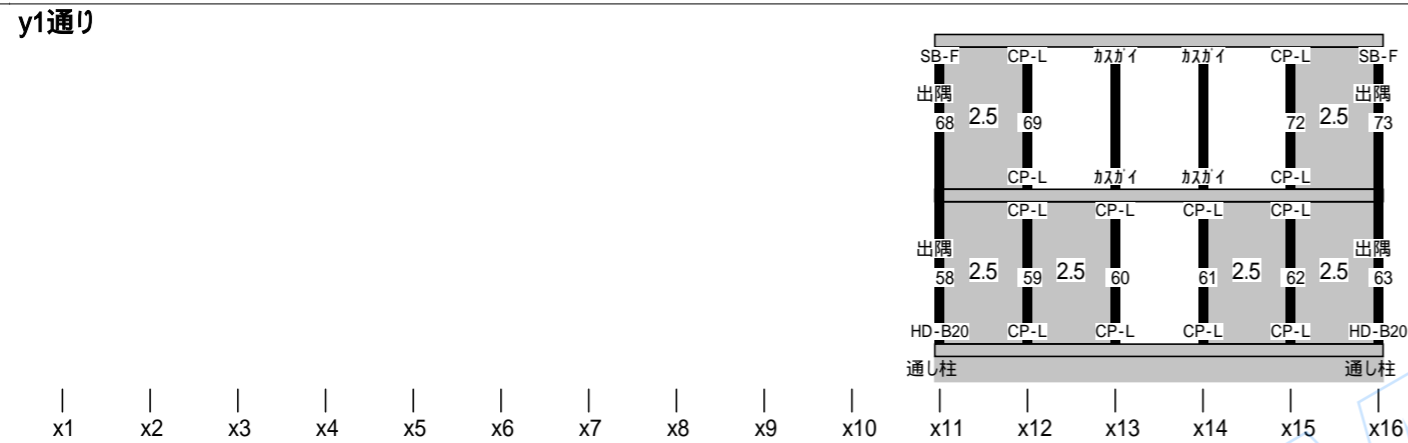
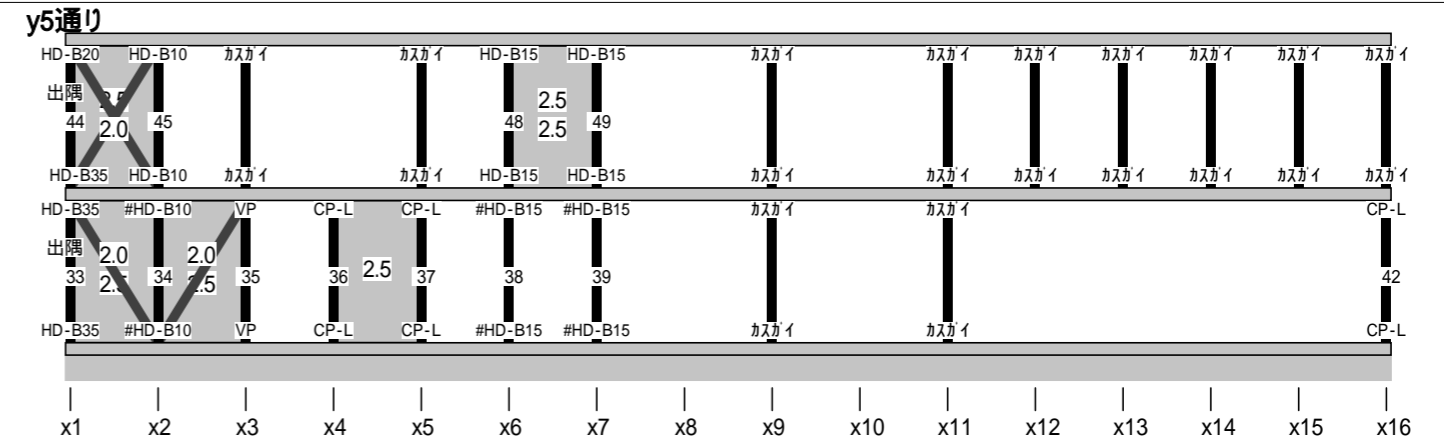
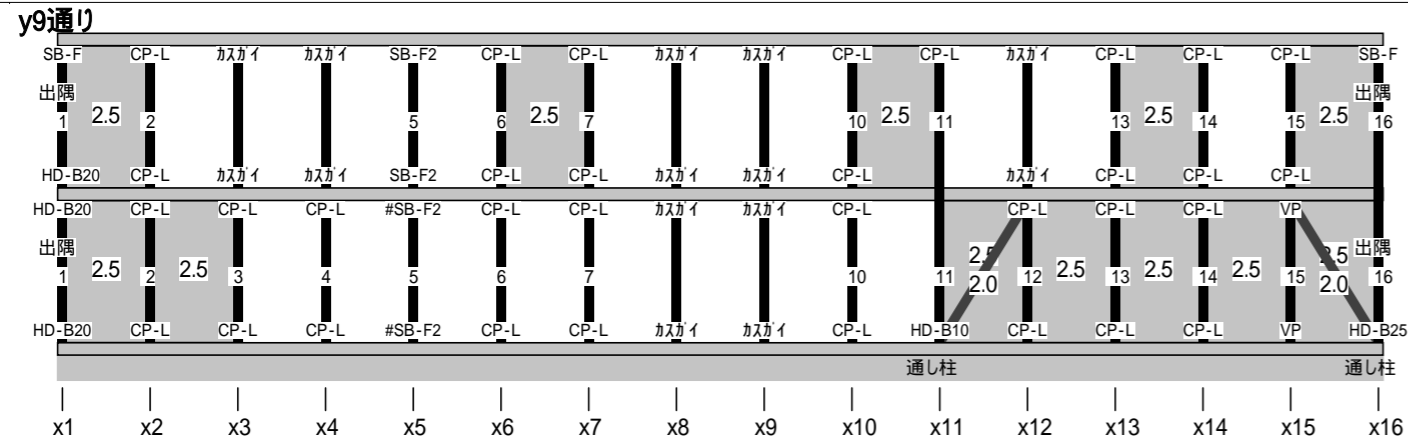
縮尺 1/50

- 凡例**
- 一般壁
 - = 開口部
 - 耐力壁
 - 面材耐力壁
 - - - 大臣認定耐力壁
 - △ 筋かいダブル
 - ▽ 柱頭
 - ▽ 柱脚
 - △ 筋かいシングル
 - 検査柱
 - 検査外柱
 - 出隅柱
 - 通し柱
- (ろ) CP-L (は) VP (に) SB-F2 (ほ) SB-F (へ) HD-B10 (と) HD-B15 (ち) HD-B20 (り) HD-B25 (ぬ) HD-B15X2 (る) HD-B35
 (を) HD-B35X2 () N>9
- 検査外柱は(い)の金物を使用する。
 印の金物は2階柱脚を1階柱頭に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
 #印の金物は1階柱を2階柱に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)

柱頭柱脚金物算定立面図

日付: 2014年09月25日 15:56:58
 建物コード: 140100
 建物名: sample

住宅性能表示



凡例

(ろ) CP-L	(は) VP	(に) SB-F2	(ほ) SB-F	(へ) HD-B10	(と) HD-B15	(ち) HD-B20
(リ) HD-B25	(ぬ) HD-B15X2	(る) HD-B35	(を) HD-B35X2	() N>9		

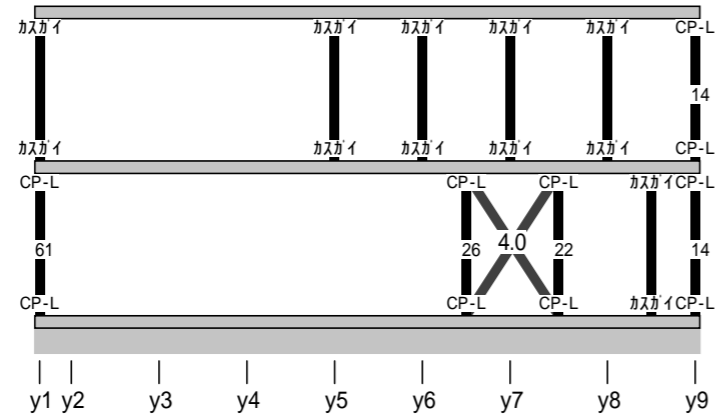
*印の金物は設計者により編集された金物を示す。(自動設定された金物以上の金物を選択)
 印の金物は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭金物に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
 #印の金物は1階柱金物をよりN値の大きい2階柱金物に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)

柱頭柱脚金物算定立面図

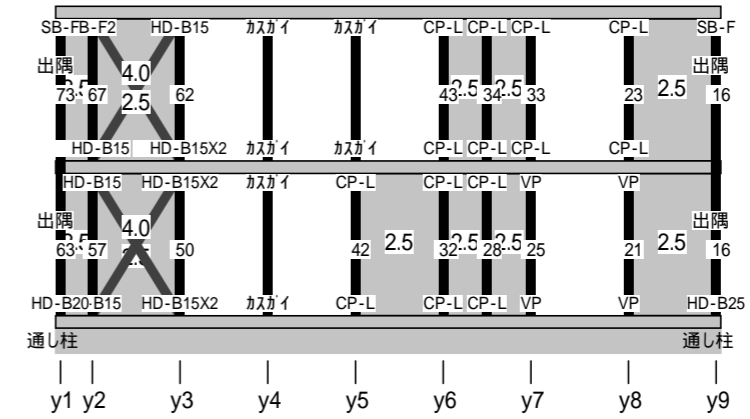
日付: 2014年09月25日 15:56:58
 建物コード: 140100
 建物名: sample

住宅性能表示

x14通り



x16通り



SAMPLE

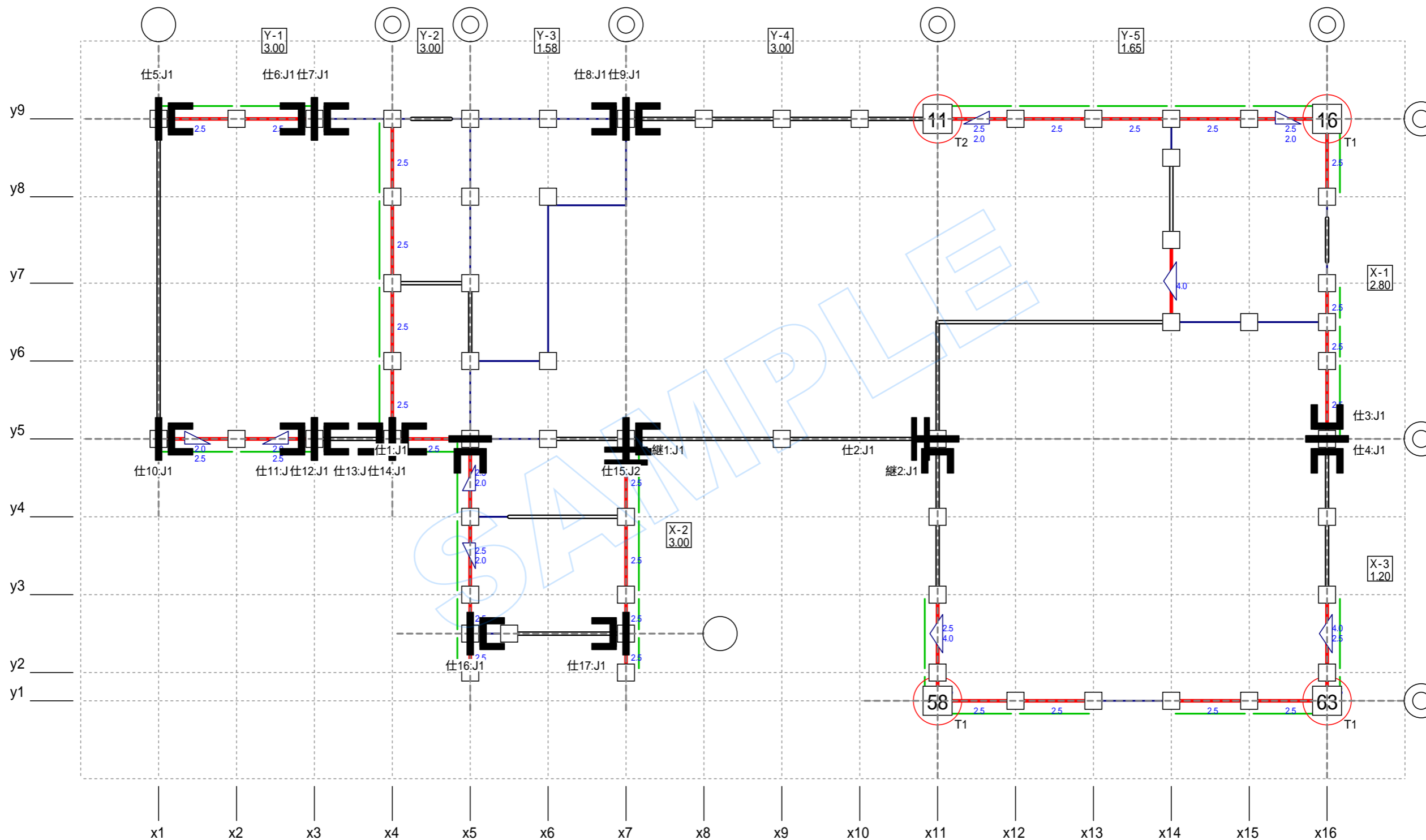
凡例 (ろ) CP-L (は) VP (に) SB-F2 (ほ) SB-F (へ) HD-B10 (と) HD-B15 (ち) HD-B20
 (り) HD-B25 (ぬ) HD-B15X2 (る) HD-B35 (を) HD-B35X2 () N>9
 *印の金物は設計者により編集された金物を示す。(自動設定された金物以上の金物を選択)
 印の金物は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭金物に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
 #印の金物は1階柱金物をよりN値の大きい2階柱金物に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)

接合部チェック平面図

(胴差と通し柱、外周横架材)

日付: 2014年09月25日 15:56:58
建物コード: 140100
建物名: sample

1階



縮尺 1/50

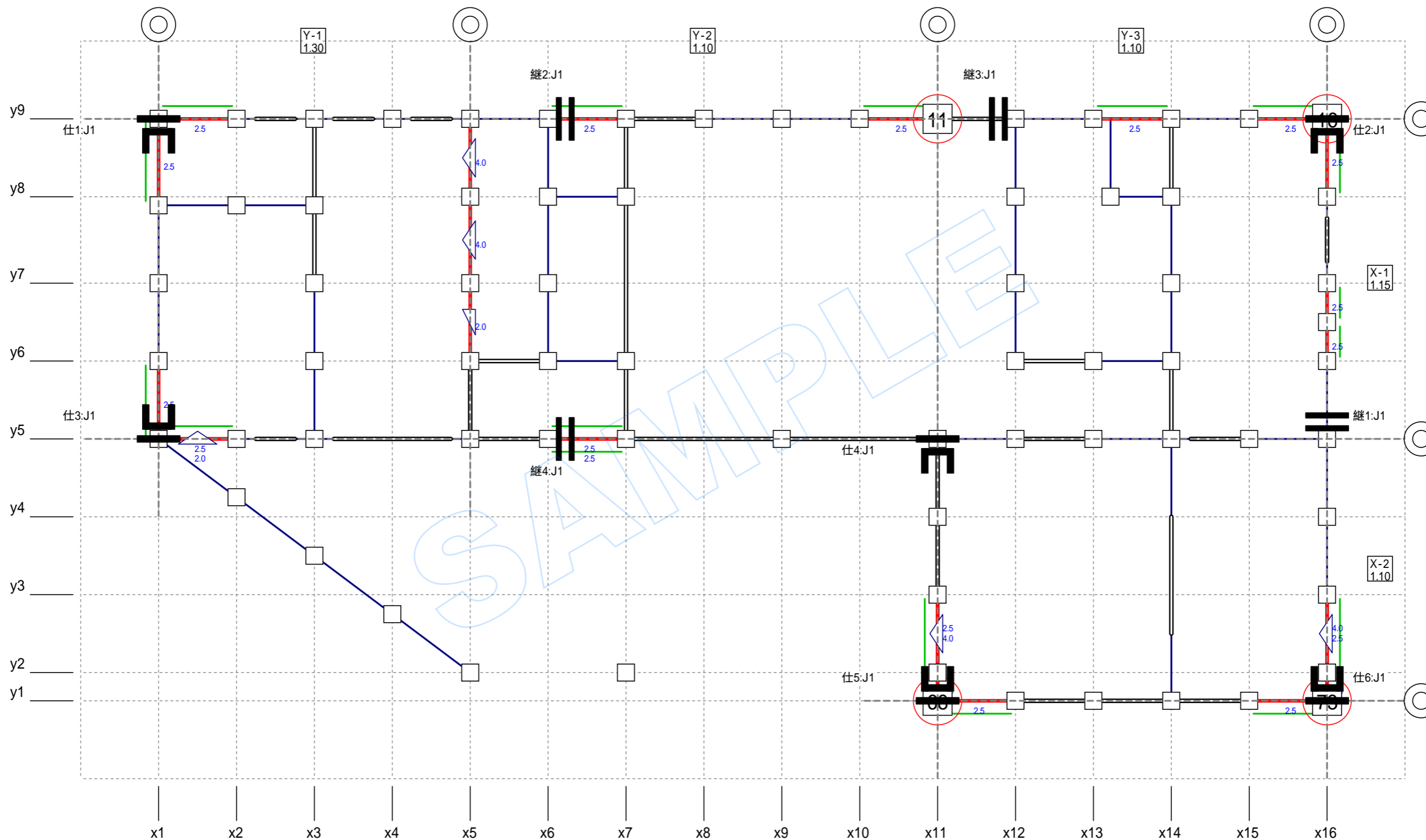
- 凡例**
- 一般壁 (Blue line)
 - 開口部 (Grey line)
 - 耐力壁 (Red line)
 - 柱 (Square symbol)
 - 通し柱 (Circle with cross symbol)
 - 継手 (Double vertical line symbol)
 - 仕口 (C-shaped symbol)
 - 面材耐力壁 (Green line)
 - 筋かいダブル (Triangle symbol)
 - 柱頭 柱脚 筋かいシングル (Triangle with dot symbol)
 - T1, T2, T3 通し柱と胴差の接合部仕様 (Triangle with dot symbol)
 - 耐力壁線 (Dashed line)
 - 耐力壁線 (Dashed line)
 - X-1 上: 床区画番号 下: 平均存在床倍率 (Boxed X-1 symbol)
 - オーバーハング (Hatched area symbol)
 - J1, J2 外周横架材(継手・仕口)の接合部仕様 (C-shaped symbol)

接合部チェック平面図

(胴差と通し柱、外周横架材)

日付: 2014年09月25日 15:56:58
 建物コード: 140100
 建物名: sample

2階



縮尺 1/50

- | | | | | | | | |
|-----------|----------|----------|---------------------------------|---------|--------------------------|----|------|
| 凡例 | — 一般壁 | — 開口部 | — 耐力壁 | □ 柱 | ○ 通し柱 | 継手 | ┌ 仕口 |
| | — 面材耐力壁 | △ 筋かいダブル | 柱頭 △ 柱脚 | 筋かいシングル | T1,T2,T3 通し柱と胴差の接合部仕様 | | |
| | --- 耐力壁線 | --- 耐力壁線 | X-1 上: 床区画番号
2.50 下: 平均存在床倍率 | オーバーハング | J1,J2 外周横架材(継手・仕口)の接合部仕様 | | |